

2013.11.25

第四定近づく...

体調管理を

季節が秋から冬に近づく。ますます肌寒くなってきました。外に出ることをためらい、家の中で過ごすことも多くなってきたことでしょう。そんな時は図書館を利用して、本を読んでみて下さい。静かな空気と雪の音が正確に近づいています。四定の準備は万全ですか??

新着図書

- ① 天声人語 (朝日新聞論説委員会)
英文対照、日本語があれば、英語力はもっと伸びる。
- ② 今日から③ 王! (喬林知)
関下と③のつくトサ日記!! 2冊
息子は③のつく自由業!! 1冊
- ④ 人間にとって成熟とは何か。(曾野綾子)
「もっと認められたい」—— この思いが自分も他人も不幸にする。
- ⑤ みんなのうた (重松清)
ふるさと。ちよとめんどくさくて。あったかい。
- ⑥ 芸大・美大をめぐる人へ。
- ⑦ 芸人交換日記 (鈴木おさむ)
- ⑧ 但馬ゆかりの50人 (神戸新聞社)
- ⑨ 海の底 (有川浩) ⑩ 空の中 (有川浩)

錦秋

おすすめの本

① 「塩の街」 (有川浩)

塩が世界を埋め尽くす塩害の時代。体が段々塩になりはじめ、遂には塩の結晶と成り果てる。塩は着々と街を飲み込み、社会を崩壊させている。その崩壊寸前の東京で暮らす男と少女、秋庭と真奈。世界の片隅で生きる2人の前には、様々な人々が現れ、消えてゆく。
しかし、——「世界とか、救ってみてくれない?」
ある日、そこのかすように囁く音が、運命を連れてやってくる。

② 「モモ」 (ミヒル・エンツ)

人には一人ひとり違った時間が流れている。それは時計では測ることのできるものではない。「本当にその人」だけの時間。
その時間を理解することが出来る人にとって、終わることも怖いことではない。
1日の時間がゆくりと、そして確実に灰色の男たちに奪われていく時、友達や町の人達、そして世界を守るために、「何者でもなかった」元浮浪児モモが歩き出す。

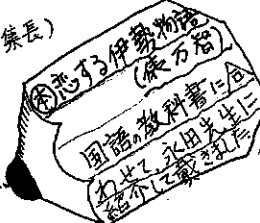
けいとう 鶏頭

※ 花言葉: おしゃれ・気取り。
ケイトウとは文字通り鶏のトサカのこと。花言葉はちよと気取って見えるオンドリのトサカからの連想が。

今月の花



二年図書委員 (編集長)
仲田 怜奈 大塚 海咲
吉岡 史人 田中 聖悟
知岡 萌



読書週間には20冊もの本の貸し出しがありました!!
これからも本を読む習慣を続けましょう!!

③ 「謎解きはディナーのあとで」 (東川篤哉)

- ・犯人に毒を与えないでください
- ・この川で溺れないでください
- ・殺人には自転車をご利用ください
- ・さよならはディナーのあとで せーのー

毒舌執事×令嬢刑事が活躍する国民的ユーモアミステリ!!
2011年 本屋大賞 & 書籍「総合」
売エランキ> 第1位!!

わが子にだけな

親心

週刊、タレントのみのちゃんさん。次男の犯した罪に対して「親の責任を感じて番組を降板する。申し訳ない」と会見で、親子の縁は切っても切れないと謝罪をしておられました。
今は亡き私の親も、自分が年老いて、体が弱っていても、私に「体は大丈夫か? 孫たちは元気にして、いるか?」と、自分のことより、いつも子や孫のことを気遣ってくださっていました。
「親は亡くなるまで、いやとくなく、天國から見守ってくれていると信じています。」
自分の一寸した過ちが親や兄弟に人生を狂わす迷惑をかけるものです。
みんなと共に肝に命じておきたいと思えます。

親に心配かけるとな